



株式会社トクヤマ

個人投資家様向け 会社説明会 (証券コード：4043)

2022年3月12日

代表取締役 専務執行役員 経営企画本部長
杉村 英男

— 説明内容 —

1. 概要
2. 主要拠点
3. 沿革
4. 暮らしの中のトクヤマ
5. 事業ポートフォリオ
6. 中期経営計画2025
7. 成長事業の取り組み
8. セメント工場活用による循環型社会への貢献
9. 株主還元について

概要

創立

1918年2月16日（旧社名：徳山曹達）

所在地

東京本部

東京都千代田区外神田1-7-5
フロントプレイス秋葉原

徳山製造所（本店所在地）

山口県周南市御影町1-1

よこた ひろし
横田 浩



▲横田社長。徳山製造所にて撮影

代表者

資本金

100億円 （2021年3月末現在）

従業員数

5,476名
（2021年3月末現在、連結ベース）

連結売上高

3,024億円（2020年度）

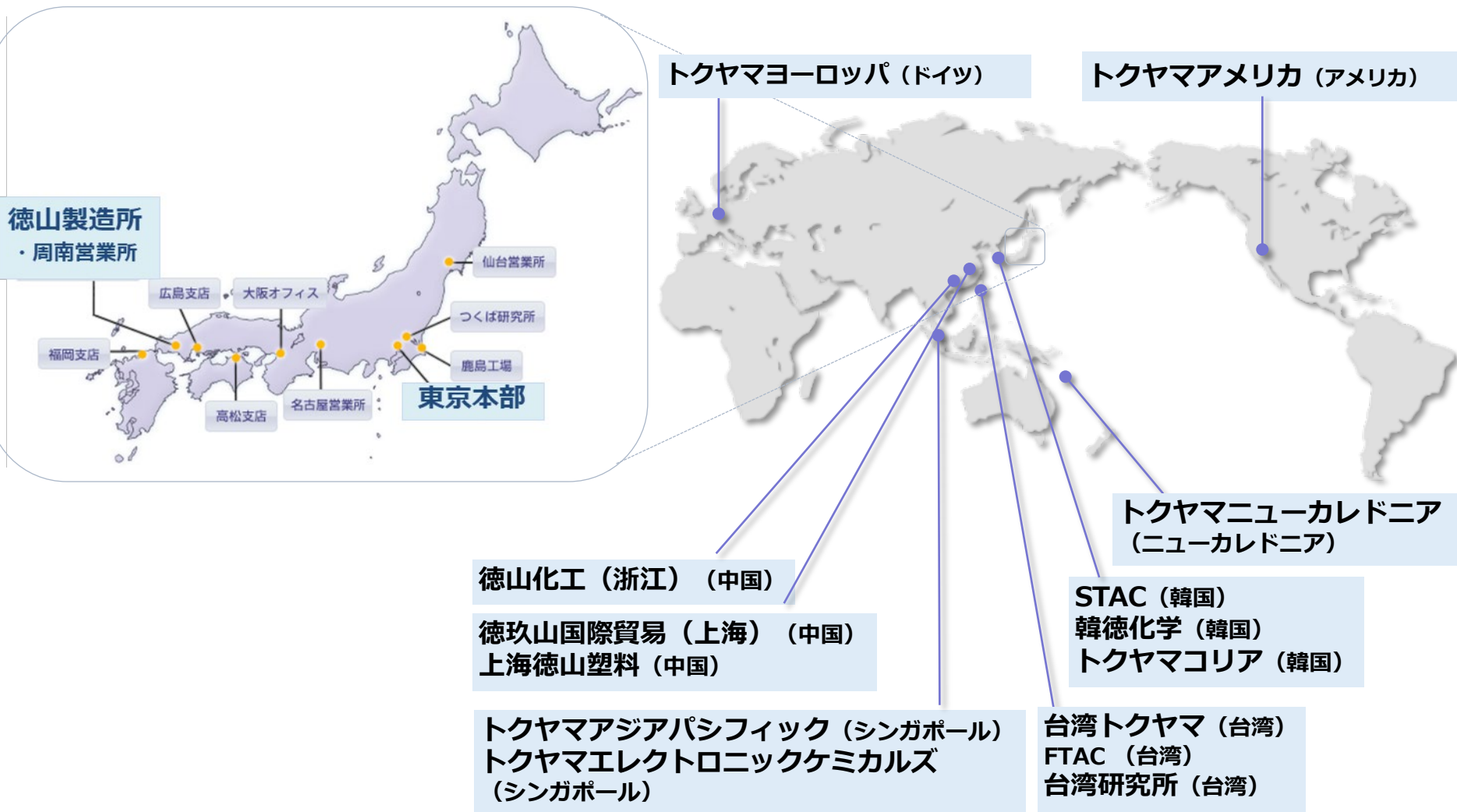
証券コード

4043（化学） *2022年4月よりプライム市場
（2012年9月より日経平均銘柄）
（2019年9月よりJPX日経400銘柄）

株式売買単位

100株

主要拠点



沿革



創立者 岩井勝次郎

岩井商店（現 双日）が設立した代表的な会社（最勝会）
ダイセル、富士フイルム、トクヤマ、
関西ペイント、日本橋梁、トーア紡



事業



スペシャリティー・加工型事業
(多結晶シリコン他)

石油化学 (塩化ビニル樹脂他)

ソーダ専業(ソーダ灰)

無機総合化学 (セメント、苛性ソーダ他)

社名

ソーダ
日本曹達工業

ソーダ
徳山曹達

トクヤマ

年

1918

1920

1930

1936

1940

1950

1960

1970

1980

1990

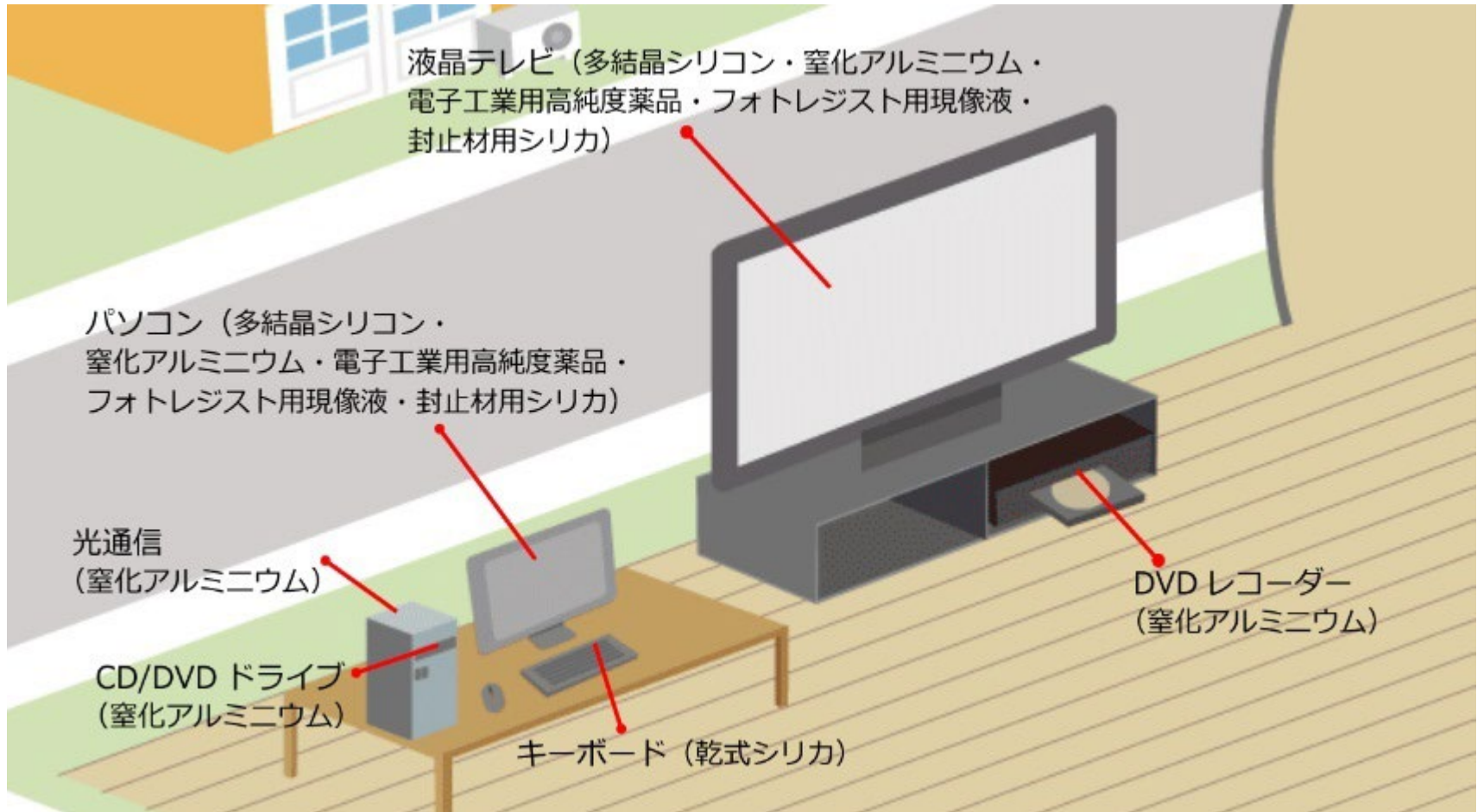
1994

2000

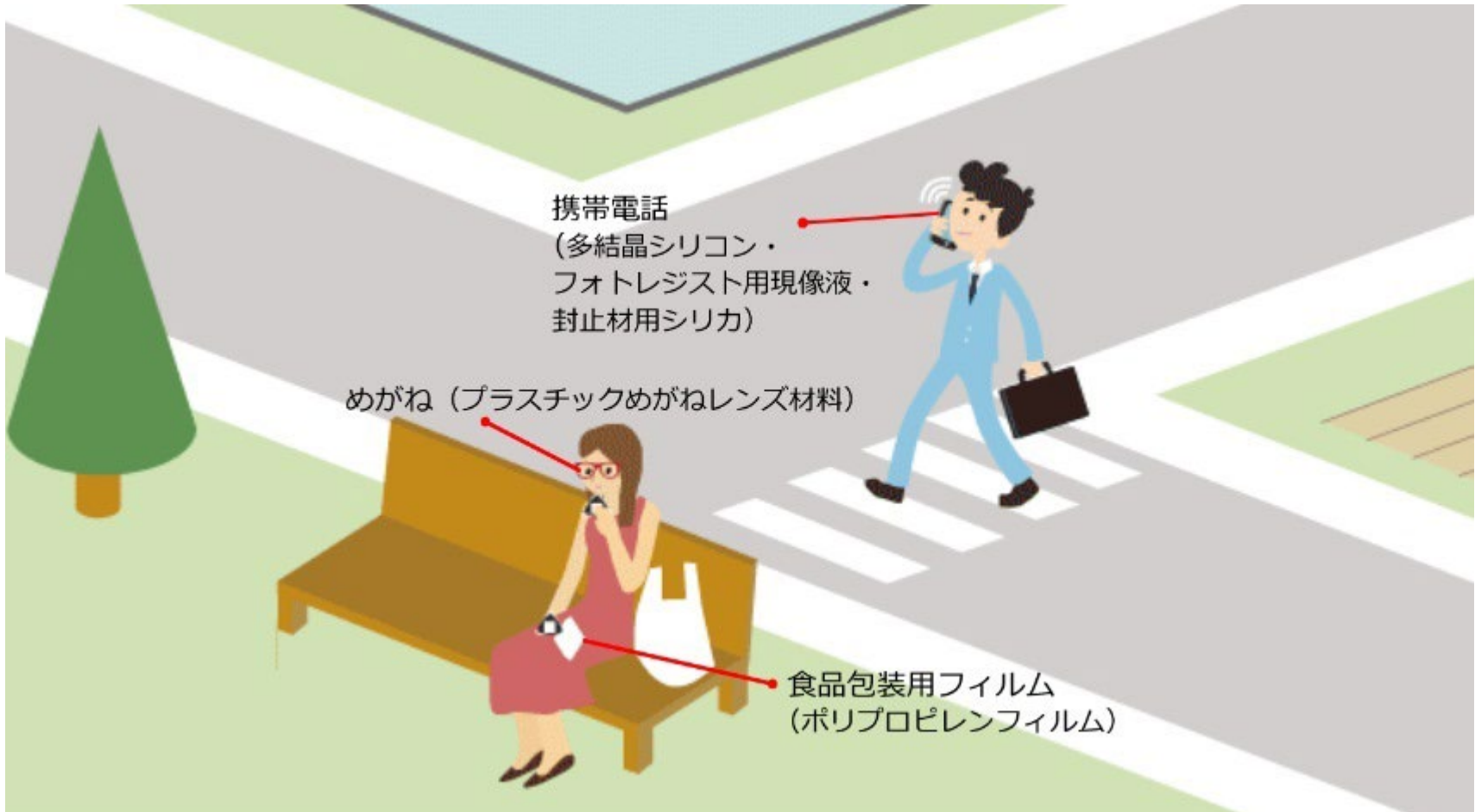
2010

2020

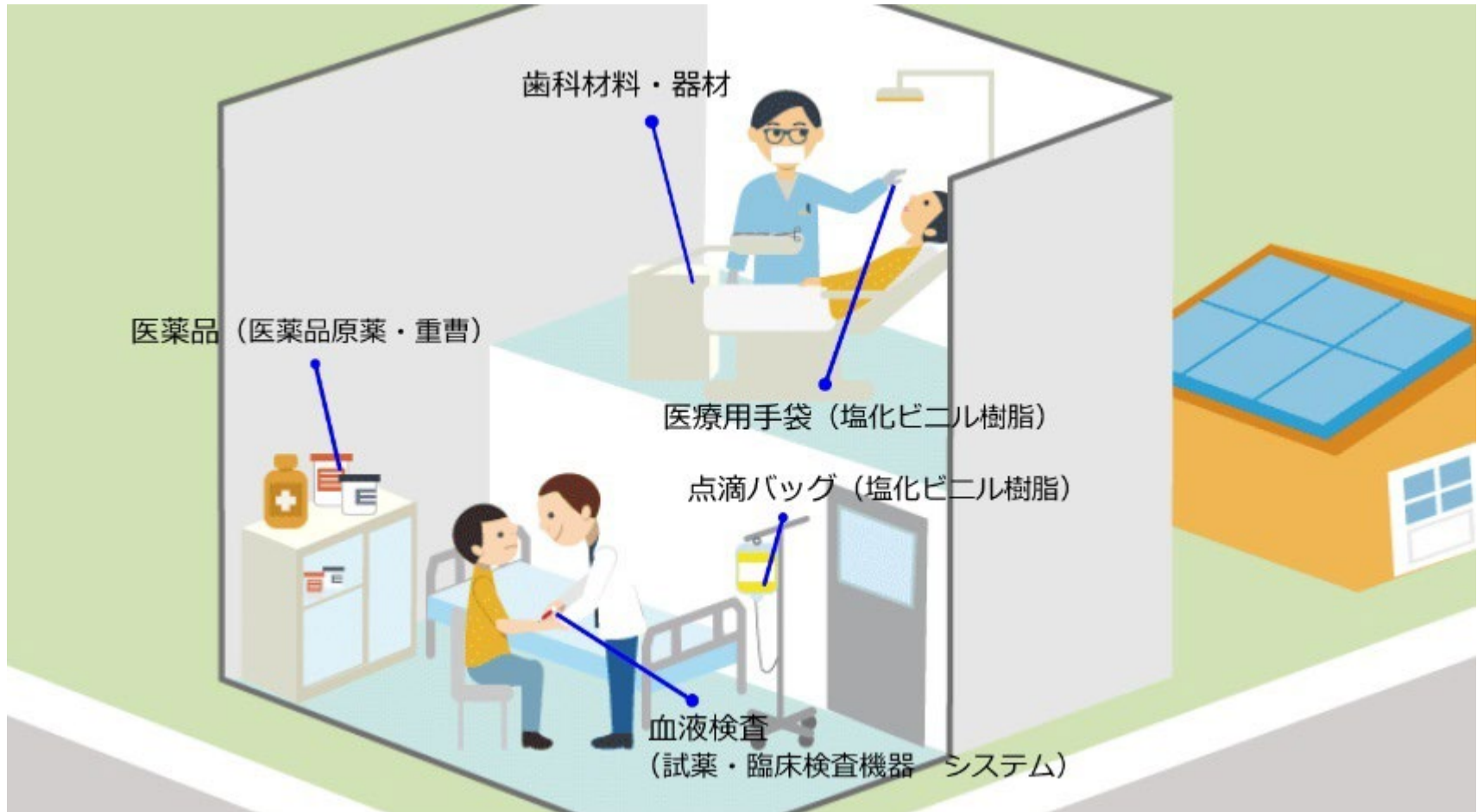
暮らしの中のトクヤマ



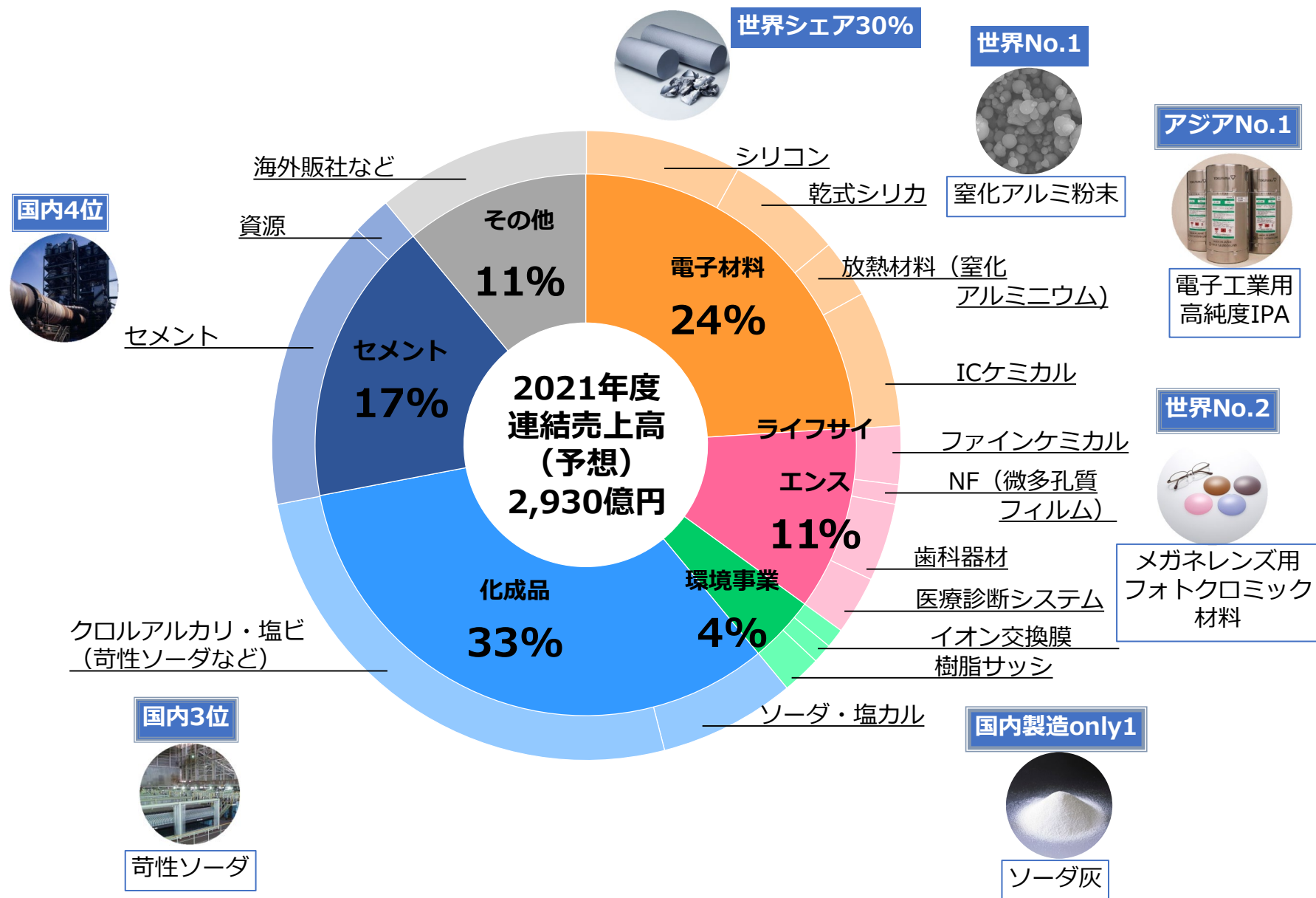
04 暮らしの中のトクヤマ



04 暮らしの中のトクヤマ



事業ポートフォリオ



中期経営計画2025 (2021～2025年度)

1

事業ポートフォリオ の転換

成長事業の
連結売上高比率50%以上

2

地球温暖化防止 への貢献

次世代エネルギーの
技術開発を加速、事業化
2030年度にCO₂総排出量30%削減*

3

CSR経営の推進

「ありたい姿」実現に向け、成長の
土台となるマテリアリティへの
取り組みを強化

* 基準年2019年度

中期経営計画2025 (事業ポートフォリオの転換)

成長事業の連結売上高比率50%以上

2025年度に向けた方針

**成長事業を「電子」「健康」「環境」に再定義し、組織化
強力に推進・成長**

**化成品事業・セメント事業は効率化を進め、
持続的なキャッシュを創出**

重要課題と施策

技術

社外との連携強化による技術の差別化を促進し、付加価値を追求

効率化

DX推進などにより、全社規模で効率的なオペレーションを追求

国際展開

成長する海外市場における事業拡大を推進

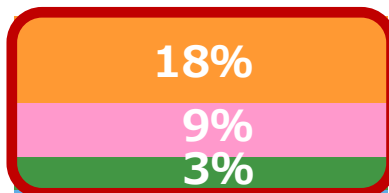
中期経営計画2025 (目指す事業ポートフォリオ)

<連結売上高構成比のイメージ>

2025年度目標 成長事業の連結売上高比率
50%以上は通過点とし、更なる高みを目指す

2020年度 成長事業
30%
(計画策定時：36%)

電子材料事業
ライフサイエンス事業
環境事業
化成品事業
セメント事業
その他



「電子」「健康」「環境」
事業は積極的な投資が
売上高を牽引

化成品、セメントは
内需減退により
縮小を予想

2020年度
(実績)

34%

18%

10%

17%

12%

9%

2030年度
(イメージ)

2030年度
60%
以上を目指す

中期経営計画2025 (地球温暖化防止への貢献)

次世代エネルギーの技術開発を加速、事業化

2030年度にCO2総排出量30%(200万トン*)削減

削減対象

*基準年2019年度：約676万トン

2050年度カーボンニュートラルに向けた取り組み

エネルギー起源

自家発電

▶ CO2排出量ゼロ（2030年度に50%削減を目指す）

原料起源
(石灰石)

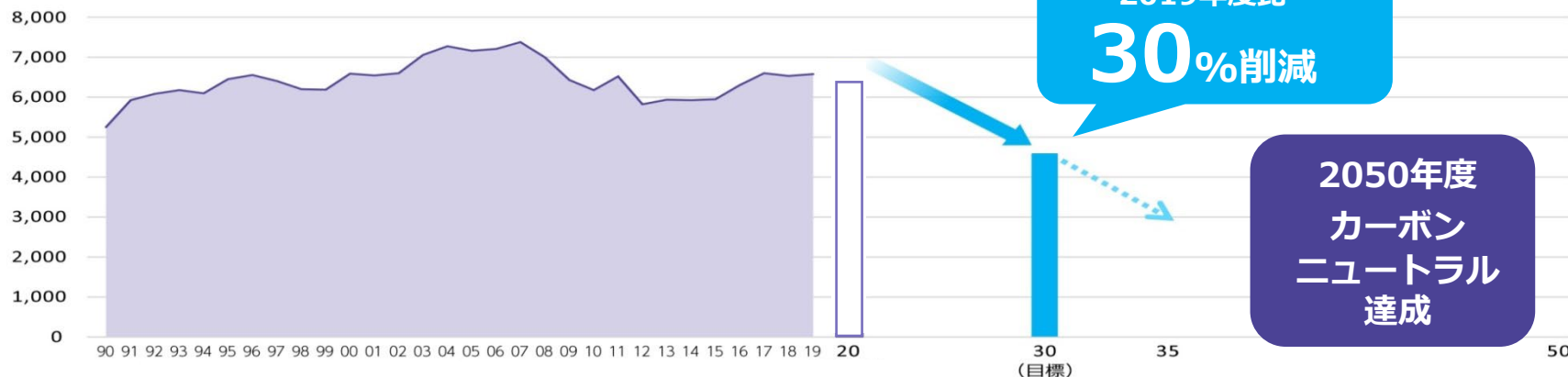
セメント

▶ 石灰石使用量の低減を検討中

化成品

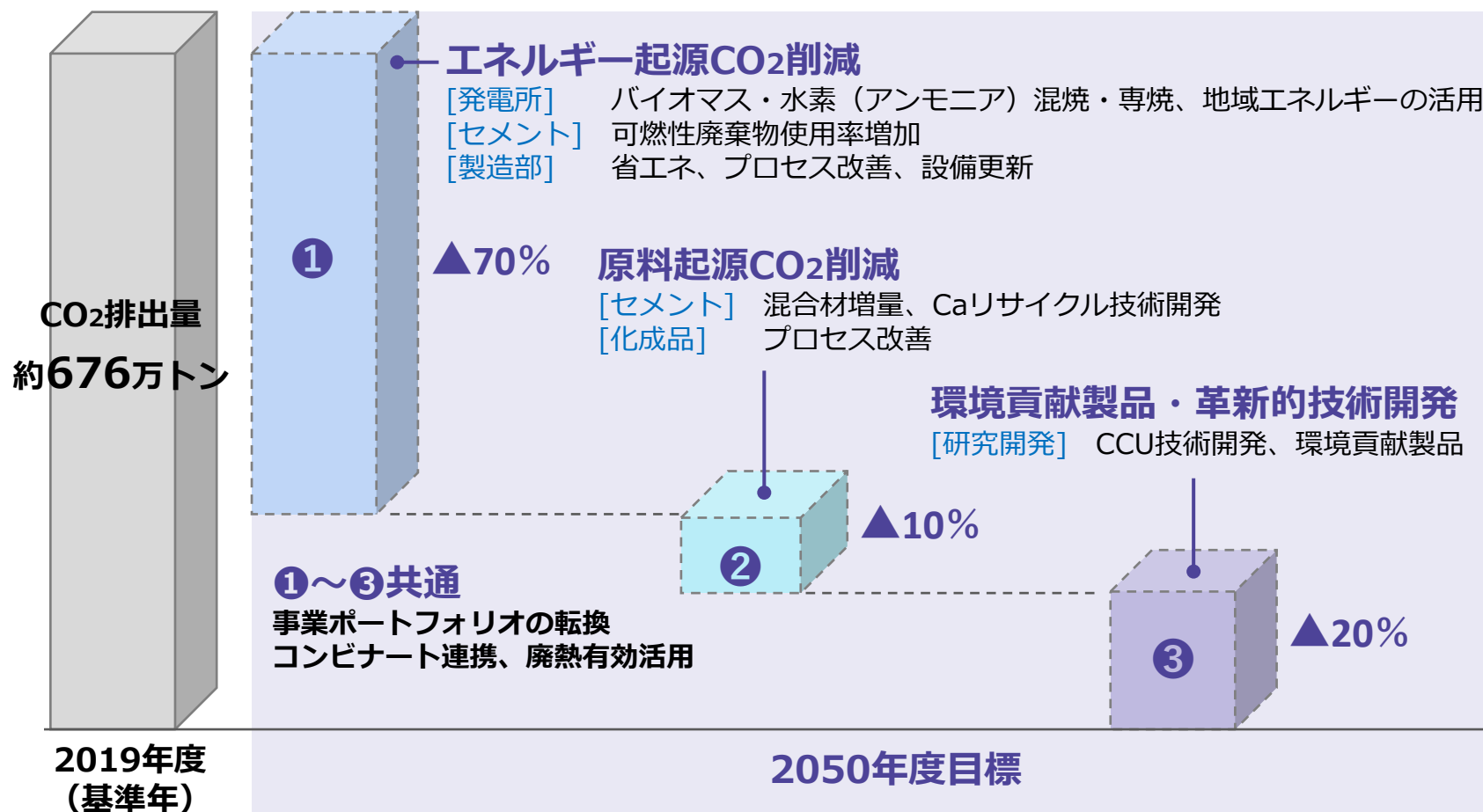
▶ CCU技術や環境貢献製品の使用など
オフセットの可能性を検討中

CO2総排出量の推移
(千トン-CO₂)



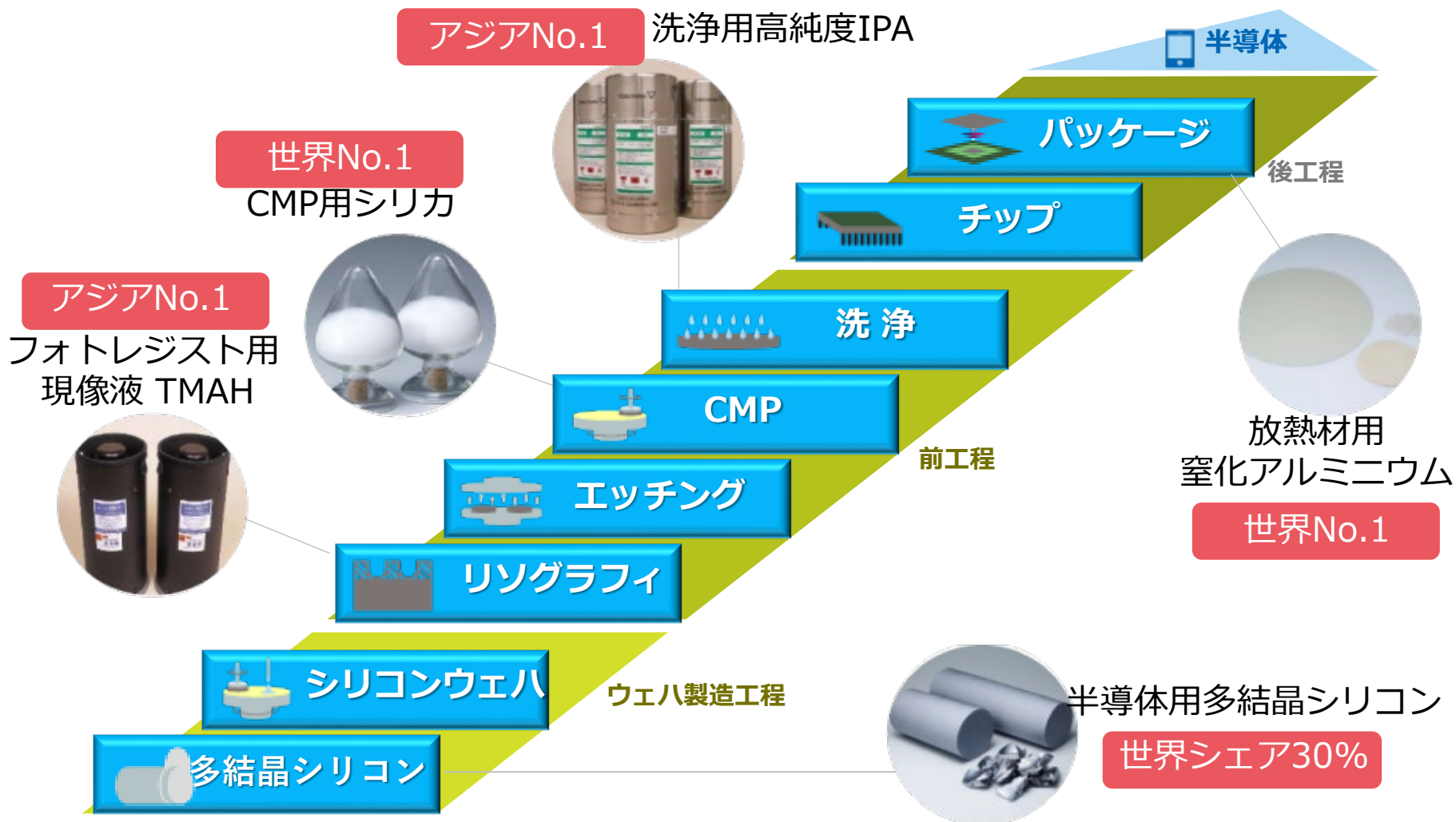
中期経営計画2025 (地球温暖化防止への貢献)

原燃料の脱炭素を目指すとともに、
環境貢献製品の開発・実装によりカーボンニュートラルを達成



成長事業の取り組み（電子）

半導体関連製品

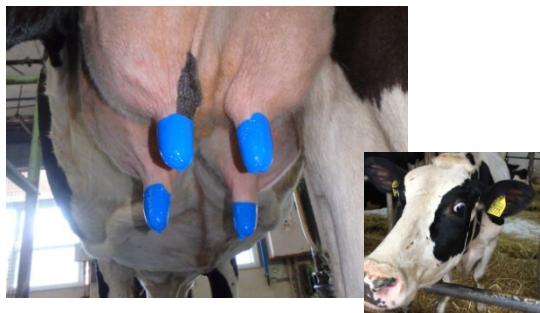


成長事業の取り組み（健康）

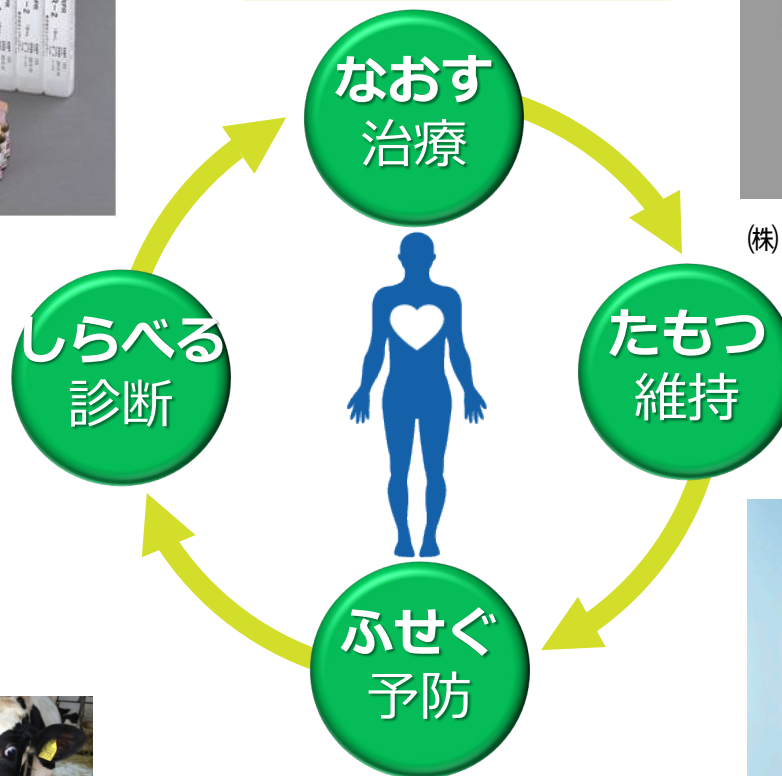
ヘルスケア関連製品



- 医療診断システム
- 臨床検査試薬
- 動物医療周辺材料

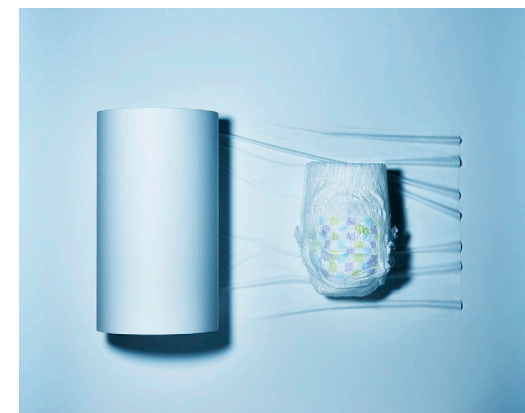


- 歯科材料
- 医薬品原薬・中間体



(株)トクヤマデンタル「オムニクロマ」
(歯科充填用コンポジットレジン)

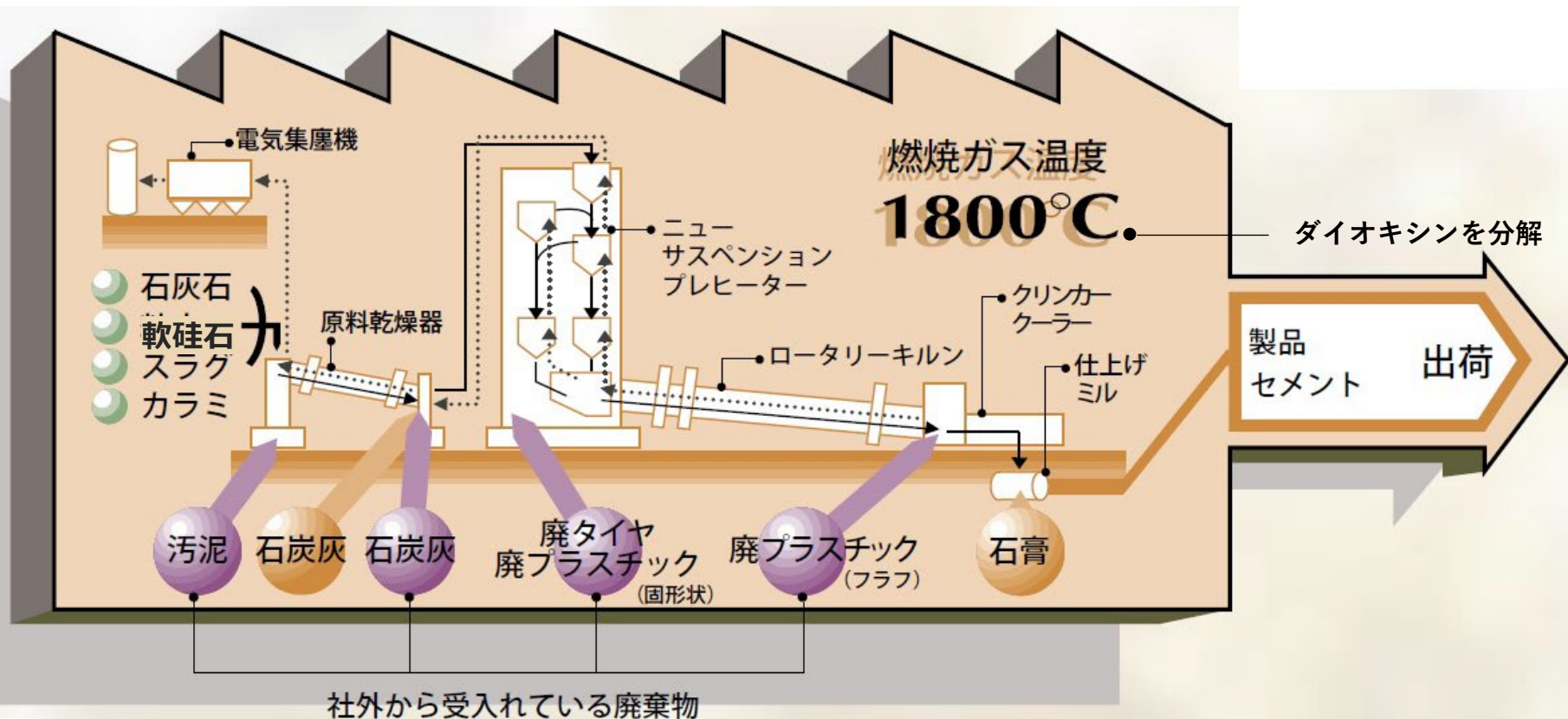
- 微多孔質フィルム
(紙おむつ材料)



- フォトクロミック材料
- 乳牛の乳頭保護材
- サプリメント

セメント工場活用による 循環型社会への貢献

セメント製造の工程で廃棄物を原料の一部として受け入れて利用することにより、循環型社会の実現に貢献しています。



廃棄物・副産物 185万トン

(参考) 令和元年台風第15号・第19号 発生災害ごみ: 174万トン

09 株主還元について

剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
中間配当金（円）	0.0	10.0	25.0	35.0	35.0	35.0
期末配当金（円）	0.0	20.0	25.0	35.0	35.0	(35.0)
配当性向（％）	—	11.5	10.1	24.4	19.9	(22.9)

（注1） 2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載なし

（注2） 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合

（注3） 2017年度期末配当金には100周年記念配当10円を含む

（注4） （）内の数値は予想値

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

補足資料 (当期業績予想)

業績予想 (2021年度)

連 結

※2021年10月28日公表

売上高

2,930億円

前期比

△3%

営業利益

220億円

前期比

△29%

親会社株主に帰属する

当期純利益

220億円

前期比

△10%

売上高営業利益率

7.5 %

1株当たり当期純利益 (EPS)

305.66 円

補足資料 (業績推移)

